

《企業紹介》

同社は小売業でベトナム最大の企業グループである。スマートフォンなどのモバイル情報機器を販売するテージュイードン (TGDD)、家庭用電気製品を販売するディエンマイサイン (DMX)、ベトナム南部を中心に小型食品スーパーを展開するバックホアサイン (BHX) の3つの小売チェーンを中心に小売業を展開している。近年では医薬品小売事業 (アンカン) やマタニティ用品 (アバキッズ) へ進出するなど、業態の多角化にも積極的に取り組んでいる。

《2025年1-3月期業績》

2025年1-3月期の売上高は前年同期比14.8%増の36.0兆VND (ベトナムドン) だった。TGDDとDMX合計の売上高は、合計の店舗数は同6.5%減の3,044店舗だったが、既存店売上高が同15%超の増加となり、同13.8%増の24.2兆VNDとなった。既存店売上高の好調は、ベトナム国内の消費回復による需要拡大に加え、品揃えの充実による販売シェアの拡大によるものとみられる。

その他の売上高は同16.9%増の11.8兆VNDとなった。BHXの店舗数が2025年3月末に前年同期比18.0%増の2,002店舗となったことが貢献したとみられる。同社の小型食品スーパーの人气が高まり、出店ニーズが拡大したことが出店加速に繋がったようだ。一方、医薬品小売事業のアンカンの店舗数は同38.0%減の326店舗、マタニティ用品のアバキッズの店舗数は同3.1%減の62店舗となっている。引き続き店舗の生産性改善を優先しているとみられる。

商品ラインナップ充実を進めるにあたり、低価格帯商品の充実を進めたため、粗利益率は同1.4%ポイント低下の19.9%となり、粗利益は同7.3%増の7.2兆VNDにとどまった。一方、既存店売上高の増加によって店舗当たりの生産性が大きく改善したため、販売費と一般管理費の合計は同1.3%減の5.6兆VNDにとどまったこと、金融収支の受取超過額が前年同期の2,101億VNDから3,543億VNDに増加したことが貢献し、税前利益は同60.4%増の1.9兆VNDと大きく伸びた。税引後利益は同71.3%増の1.5兆VNDとなった。

図表1 四半期業績の推移 (単位 十億VND)

	2024年1-3月期		2024年4-6月期		2024年7-9月期		2024年10-12月期		2025年1-3月期	
		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)
売上高	31,486.5	16.2	34,134.1	15.8	34,146.7	12.7	34,573.9	9.2	36,135.0	14.8
売上総損益	6,712.6	28.7	7,307.7	34.3	6,891.9	21.4	6,587.0	6.5	7,200.4	7.3
(売上総損益率%、%ポイント)	21.3	2.1	21.4	2.9	20.2	1.4	19.1	-0.5	19.9	-1.4
金融収支(マイナスは収入)	-210.1	-	-286.4	-	-244.9	-	-446.6	-	-354.3	-
販売費	4,821.3	0.8	5,056.4	-3.0	4,849.0	-8.8	5,123.1	-8.6	4,403.0	-8.7
一般管理費	868.5	167.5	813.3	254.9	967.6	183.3	916.4	236.6	1,214.6	39.9
税前利益	1,206.2	658.8	1,516.0	1,068.1	1,068.0	486.8	1,035.5	373.0	1,934.7	60.4
税引後利益	902.4	4,143.4	1,172.3	6,635.3	800.1	1,965.5	847.0	838.4	1,545.9	71.3

出所 各種データをもとに当社作成

ニューズ証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
 主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より180日

News20250428

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

モバイルワールド (MWG)



《株価の動向》

図表2は同社の株価とVN指数の2024年末終値を100として指数化したものである。同社の株価は年初からVN指数をアンダーパフォームしていたが、2025年1-3月期業績が明らかになった4月下旬から大きく反発し、急激にキャッチアップしている。4月28日時点でVN指数は2024年末比3%の下落となっているが、同社は同1%の下落となっている。4月28日終値60,500VNDで計算した同社の時価総額は88.4兆VNDで、これは2024年12月期の税引後利益実績3.7兆VNDの24倍となっている。

店舗の構造改革が成功し、商品ラインアップの強化による一段の収益力強化が進められている。高い収益力の出店フォーマットで、BHXで見られるような出店攻勢がTGDDとDMXでもみられれば、業績拡大期待が高まることになる。同社は、2025年12月期の売上高を前期比12%増の150兆VND、税引後利益（少数株主持分控除前）を同30%増の4兆8.500億VNDとしている。引き続き収益力の強化に配慮しながら、TGDDとDMXの店舗数拡大は慎重に進め、売上高の緩やかな増加を目指す考えのようだ。

図表2 株価推移



出所 Investing.comのデータをもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
 主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より180日

News20250428

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。